

## 春の気配を感じていますか

最近空気がひやっとする日が続いていきますね。冬から春に移るときの表現として、日本には「三寒四温」という言葉があります。三日寒い日があったら四日暖かな日が続いて季節が移り変わっていくという意味です。暦の上ではすでに春に入っていますが、まだ完全には春になりきっていないということがあるのでしょいかね。「一寒六温」ぐらいの今日この頃です。

下にあるのは、北中のプランターに植えられたパンジーたちの写真です。休校前にも元気で大きな株に成長していましたが、覚えていますか。今でもパンジーたちは元気に春の日差しを浴びています。

しかし、元気な状態が自然に続いているわけではありません。先日は、用務員の林さんが半日かかって、元気がなくなった花を摘み、空気の通りをよくして手入れをしてくれました。そのお陰で、今でも見事な花を咲かせています。

校舎前の芝生も変わってきましたよ。皆さんの元気な声が響いていたときには冬枯れてましたよね。色で言うとう薄い茶色でした。今は何色になっていると思いますか。

上の写真が今の芝生の状態です。うっすらと緑がかってきているでしょ。芝生は根が地面の下をはって伸びています。寒い冬でも地下でじっと耐えて春を待っていたのです。

皆さんは、たまには外に出ていますか。私が「原則として自宅待機」と言ったから、それを守っているのかな。確かに不要不急の外出は避けてほしいけれど、家の周りには出てほしいな。そして、春の気配を感じてください。人間のざわめきにも負けず、自然はマイペースで移り変わっていますからね。

(四月二十四日 記)

